

阪南市埋蔵文化財報告 XXVIII
阪南市埋蔵文化財発掘調査概要 XVI

2001年
阪南市教育委員会

はしがき

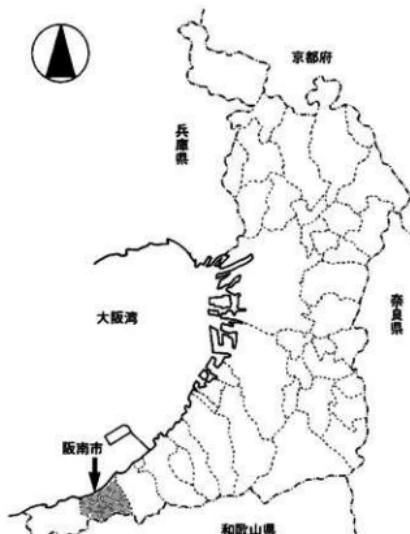
阪南市は、大阪府の南部に位置し、大阪市のベッドタウンとしての様相を呈しています。バブル経済崩壊以降も少なからず開発事業が行われ、文化財保護法に規定されています周知の埋蔵文化財包蔵地における土木工事等の届出件数も年間100件を超えていました。こうした土木工事に伴い当市では、1986年以降主体となって発掘調査を実施しています。本書は、このうち国庫補助事業として行った調査報告書です。

さて、地方分権が叫ばれ、地方が主役の昨今ですが、当市でも、昨年11月待望の阪南市文化財保護条例が施行されました。今後は、これまで以上に、阪南市独自の文化財保護施策を推進していくことが必要になってきています。市民の皆様のご理解とご協力のもと、様々な施策を実行する所存ですので、よろしくお願ひいたします。

また、末筆にはなりましたが、今回調査にご協力いただきました土地所有者ならびに関係者に厚く感謝いたします。

2001年3月

阪南市教育委員会
教育長 川村一郎



第1図 阪南市位置図

例　　言

1. 本書は、阪南市教育委員会が、平成12年度国庫補助事業として計画し、生涯学習推進室が担当実施した阪南市内遺跡発掘調査概要報告書である。
2. 調査は、阪南市教育委員会生涯学習推進室三好義三、田中早苗、上野仁及び松本武志を担当として実施した。
3. 本書内に示した標高は、T.P.であり、方位は既製の地形図などを使用したものと除いて磁北である。
4. 調査にあたっては、調査地の土地所有者等関係者各位の理解と協力を得た。ここに記して感謝の意を表したい。
5. 本書の執筆・編集は、上記の調査担当者が行った。また、実測図等の作成は、下記の調査従事者による。
6. 本調査における記録は、実測図、写真、カラースライド等に保存されている。当教育委員会にて保管しているので、広く活用されたい。

(調査従事者)

宇沢克之、辻野 勝、岡本利市、太田敏治、平坂博司、上野高男、坂本善成、橋本松雄、溝上 満、和田旬世、井上祥子、井上 進、福森由記、外池美渡里、滝本奈保子、吉田 稔、谷口紗枝子、川嶋宏樹、田中達也

目　　次

第1章 歴史的環境		1
第2章 調査の成果		
第1節 尾崎海岸遺跡	(1) 00-1区	4
第2節 尾崎清水遺跡	(1) 00-2区	5
第3節 馬川遺跡	(1) 99-16区	6
第4節 下出遺跡	(1) 00-2区	6
第5節 亀川遺跡	(1) 00-1区	7
第6節 神光寺(蓮池)遺跡	(1) 00-1区	7
第7節 自然田遺跡	(1) 99-2区 (2) 00-1区	8
第8節 波有手遺跡	(1) 00-1区	9
第9節 西鳥取遺跡	(1) 00-1区	10
第10節 貝掛遺跡	(1) 00-2区	11
第11節 箱作今池遺跡	(1) 00-2区 (2) 00-3区	12
第12節 田山東遺跡	(1) 00-1区	14

第1章 歴史的環境

阪南市は和泉山脈から連なる丘陵地と和泉山脈から大阪湾にそそぐ河川から形成された扇状地に位置する。雨の量は少なく昔から気候の温暖な地域であり、その温暖な気候から豊かな文化がつくられてきた。その豊かな文化を育んできた阪南市の歴史的変遷を述べたい。

旧石器時代の遺構・遺物は現在までに確認されていないため、明らかになっていない。

縄文時代の主な遺跡には、尾崎清水遺跡、馬川北遺跡、向出遺跡、神光寺（蓮池）遺跡、田山遺跡などがある。主な遺物には、神光寺（蓮池）遺跡から出土した草創期所産の有茎尖頭器があげられる。また、尾崎清水遺跡、馬川北遺跡からは晩期の土器が出土している。遺構が検出されるのは後期にはいってからであり、その主な遺構には、1998年（財）大阪府文化財調査研究センターによる向出遺跡の調査によって検出された数百の土坑がある。この調査が行われるまで市内における縄文文化の実態はほとんど解明されず、少量の遺物は出土するが、集落跡、生産跡といった当時の痕跡は確認されていなかった。この調査によって向出遺跡の縄文時代の様相が徐々に明らかにされつつある。調査では土坑墓、祭祀土坑などを検出したことによって、主に墓域としての性格をもつ調査成果を得ている。また、その中でも注目されるのは、石棒、石剣、石刀などが出土していることや墓域と集落は近接して位置すると考えられるが、広範囲に土坑墓が検出されているにもかかわらず住居址が確認されていないことである。住居址が確認されている近隣市外の調査例には、1980年、岬町の淡輪遺跡における大阪府教育委員会の調査がある。この調査では、後期の炉を伴う住居址が確認されており、遺物は後期から晩期の土器や石器が出土している。この淡輪遺跡から東方約1km離れて位置する田山遺跡やさらに東方約500m離れて位置する箱作今池遺跡からも石器が出土している。これら田山遺跡、箱作今池遺跡周辺は、向出遺跡を中心とした男里川で形成される平野部と比べると、狭小であり集落の規模は小さいと思われるが、集落跡の存在は充分考えられ、これから調査による解明が期待されるところである。

弥生時代の主な遺跡には、尾崎海岸遺跡、馬川遺跡、向出遺跡、神光寺（蓮池）遺跡、鳥取南遺跡があげられる。馬川遺跡では、市内で唯一出土している前期の土器があげられる。生産跡を検出している遺跡としては、尾崎海岸遺跡があり、多数の製塙土器を伴った炉跡を確認している。前述の向出遺跡における調査では、円形や方形の形態をもった竪穴住居を約10棟検出している。また、神光寺（蓮池）遺跡では、稻作が行われていたことを窺わせる石包丁や中期から後期にかけての土器が出土しており、遺構は中期の方形周溝墓、自然流路が確認されている。鳥取南遺跡では、後期の遺物とともに土坑などを検出している。

古墳時代の主な遺跡には、亀川遺跡、玉田山古墳群、玉田山須恵器窯、貝掛遺跡、田山遺跡、がある。亀川遺跡では、滑石製玉類がまとめて出土している土坑を検出しており、5世紀の石製品生産跡であると考えられている。また、製塙が行われていたと思われる土坑も確認されている。その他、竈を伴うものを含め、計13棟の住居址も確認されている。この亀川遺跡から南東方約500m離れた地点に玉田山古墳群、玉田山須恵器窯が位置している。玉田山古墳群内

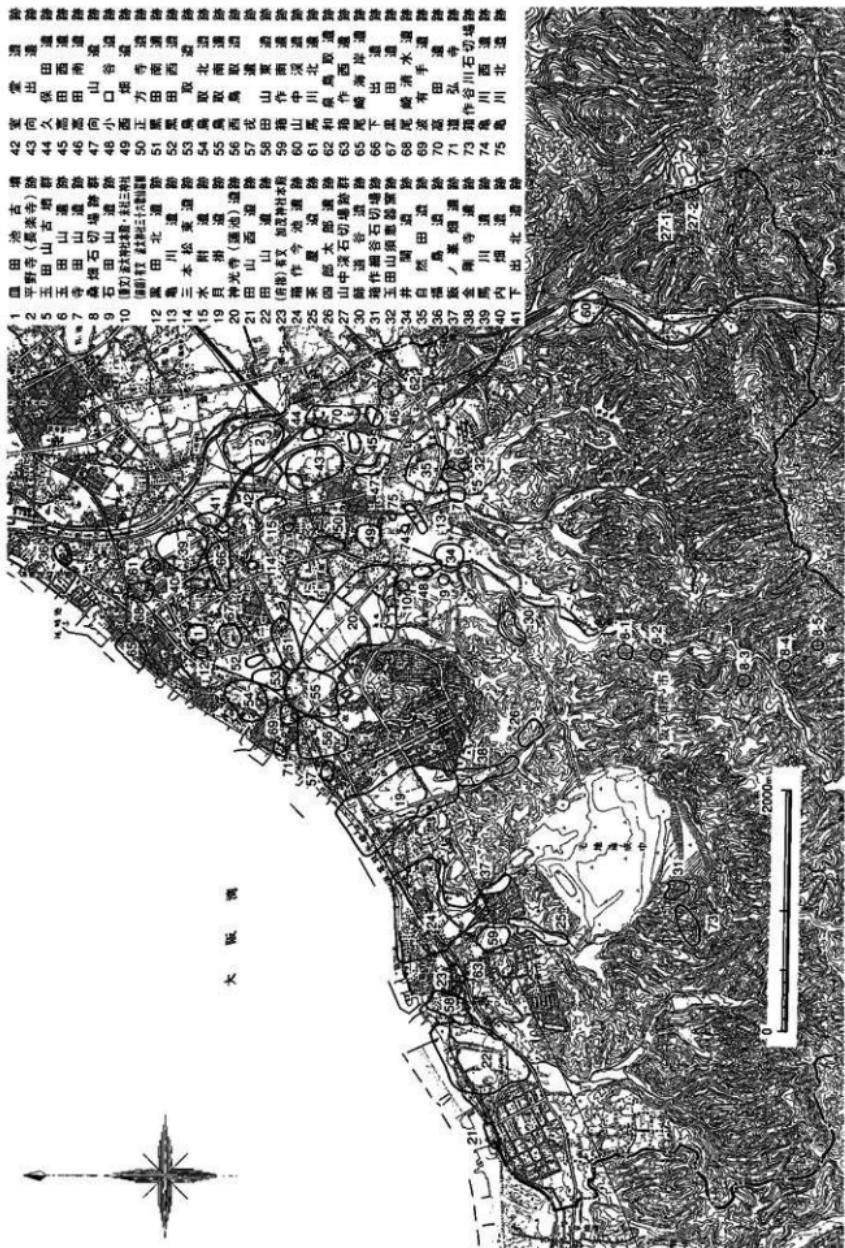
の7世紀に築造された玉田山1号墳からは、須恵器をはじめとして、琥珀製棗玉、ガラス製丸玉・小玉、金環、銀環などの副葬品が出土している。調査地周辺における古墳時代の様相が徐々に解明されている。

奈良時代の主な遺跡には、波有手遺跡、道弘寺遺跡、貝掛遺跡、箱作今池遺跡、田山遺跡などがある。田山遺跡では、掘立柱建物跡、井戸を検出しており、遺物は円面硯、墨書き土器や製塙土器が出土していることが特徴としてあげられる。この遺跡から東方約500m離れて位置する箱作今池遺跡では、大型建物跡が3棟確認されており、特筆すべき出土遺物として円面硯があげられる。この遺跡から東方約300m離れて位置する貝掛遺跡では、奈良三彩八曲長杯が出土している土坑や掘立柱建物跡を検出している。さらに東方約300m離れた波有手遺跡では、大量に墨書き土器や製塙土器が出土している。また、この遺跡の北西方約200mに道弘寺遺跡があり、道弘寺の瓦を焼成していたと考えられる平窯が確認されている。史料などではこの地域に寺院が存在したことが知られているが、これまでの周辺の調査ではその位置を確定させるような遺構は検出されていない。

中世の主な遺跡には、馬川遺跡、下出遺跡、箱作今池遺跡、田山東遺跡、田山遺跡があげられる。馬川遺跡、箱作今池遺跡、田山東遺跡や田山遺跡では、蜻壺焼成土坑が確認されている。下出遺跡では、多数のピットや瓦器塊を埋納していた土坑などを確認している。

近世の主な遺跡には、箱作ミノバ石切場跡、箱作細谷石切場のような阪南市の特徴的な生産遺跡である石切場跡が確認されており、集落跡として貝掛遺跡があげられる。

以上、歴史的変遷の概要を述べた。後述するように、今年度も前年の国庫補助事業における発掘調査件数とほとんど変わらず、少数ではあるが新たな成果をあげている。



第2図 阪南市埋蔵文化財分布図



第3図 尾崎海岸遺跡・尾崎清水遺跡 調査区位置図

第2章 調査の成果

第1節 尾崎海岸遺跡

(1) 尾崎海岸遺跡 00-1区

1. 調査の概要 (第3～6図)

尾崎海岸遺跡は、本市の北東部、大阪湾に面して所在する。調査区は、1990年度に弥生終末期～古墳時代初頭の製塩土器が確認された地点の南東方向にあたる。

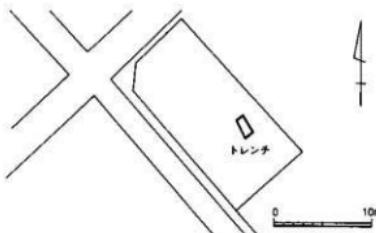
調査は、調査区内に1.2m×2.5mのトレンチを設定して行った。盛土以下の基本的な層序は、第2層淡茶色砂、第3層灰色砂、第4層黄茶色砂の地山である。遺構は、トレンチ南端部で土坑もしくは溝と思われる遺構を検出した。遺物は土坑もしくは溝、第2・3層から土師質土器、磁器等が出土した。

2. 遺構 (第5図)

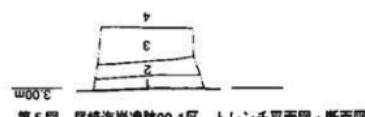
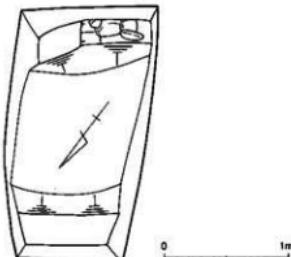
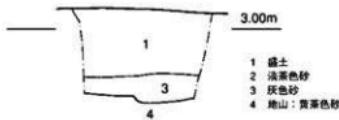
第4層上面で土坑が確認された。第3層を埋土とする。下記のとおり、磁器の碗が出土している。近世期以降のものである。

3. 遺物 (第6図)

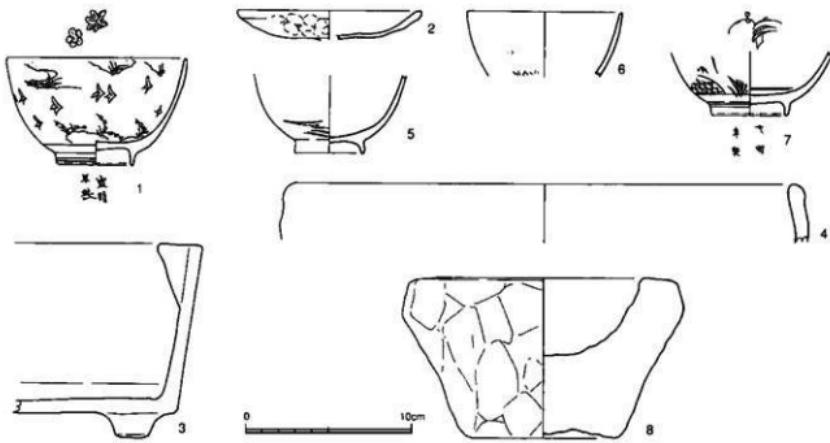
1は磁器の碗で、上述の遺構から出土した。
2は土師質土器の皿で、いわゆる白土器である。
3は瓦質土器の火鉢。4は土師質土器の炮烙。5～7は磁器碗。8は和泉砂岩製の臼。2～5は第3層から、6～8は第2層から出土した。



第4図 尾崎海岸遺跡00-1区 トレンチ位置図



第5図 尾崎海岸遺跡00-1区 トレンチ平面図・断面図



第6図 尾崎海岸遺跡00-1区 出土遺物

第2節 尾崎清水遺跡

(1) 尾崎清水遺跡 00-2区

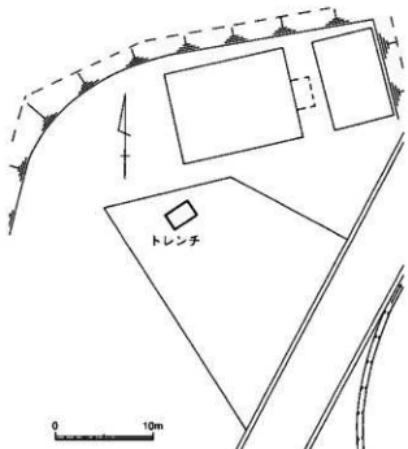
1. 調査の概要 (第3・7図)

尾崎清水遺跡は、阪南市の北東部に拡がり、西には縄文時代晩期の自然河川を検出した馬川北遺跡が位置する。

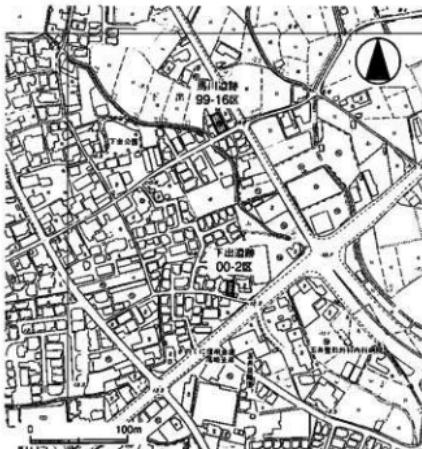
調査は調査区内に $2\text{m} \times 1.5\text{m}$ のトレンチを1ヶ所設定して行った。

基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層暗茶色礫混土の地山である。

遺構は検出されず、遺物は第2層より土師質の管状土錐が出土した。



第7図 尾崎清水遺跡00-2区 トレンチ位置図



第8図 馬川遺跡・下出遺跡 調査区位置図

第3節 馬川遺跡

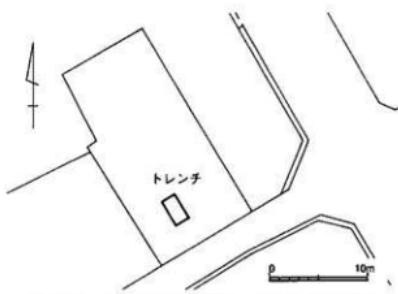
(1) 馬川遺跡 99-16区

1. 調査の概要 (第8~10図)

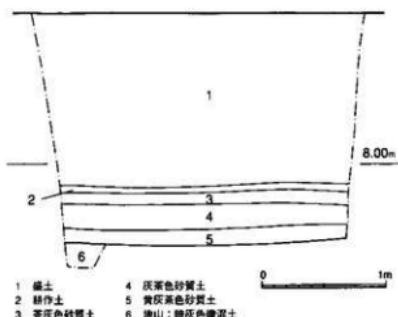
調査区は本遺跡の南部に位置する。調査は、調査区南部に2.7m×1.5mのトレンチを設定して行った。

基本層序は、第1層盛土、第2層耕作土、第3層茶灰色砂質土、第4層灰茶色砂質色土、第5層黄灰茶色砂質土、第6層暗灰色礫混土の地山である。

遺構は検出されなかったが、遺物は第3層から土師質竪壺、土師質管状土錐、土師質土器、瓦器、瓦質土器、磁器、第4層から瓦器、土師質竪壺、第5層から土師器、土師質竪壺が出土した。



第9図 馬川遺跡99-16区 トレンチ位置図



第10図 馬川遺跡99-16区 トレンチ西側断面図

第4節 下出遺跡

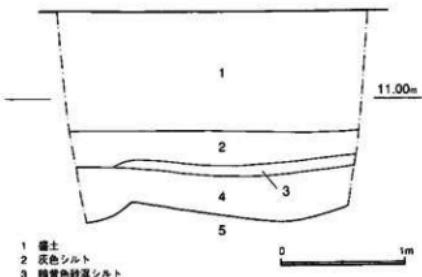
(1) 下出遺跡 00-2区

1. 調査の概要 (第8・11~13図)

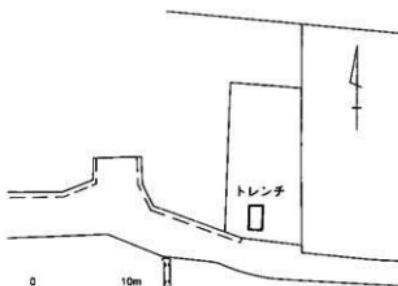
下出遺跡は、阪南市の北部に拡がり、北は馬川遺跡に接する。

調査は調査区内に2m×1.5mのトレンチを設定して行った。

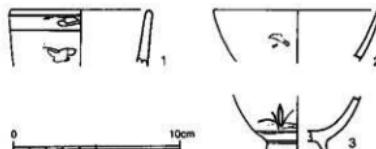
基本層序は第1層盛土、第2層灰色シルト、第3層暗黄色砂混シルト、第4層暗茶灰色砂礫混シルト、第5層明黄色粘土の地山である。



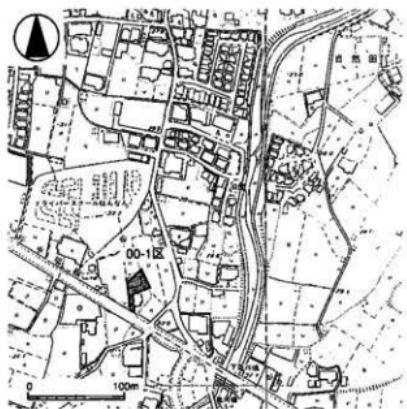
第12図 下出遺跡00-2区 トレンチ西側断面図



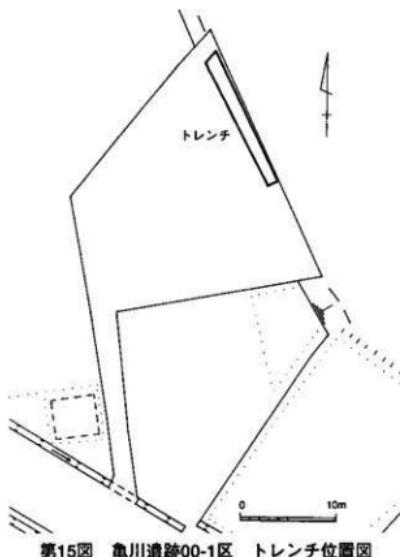
第11図 下出遺跡00-2区 トレンチ位置図



第13図 下出遺跡00-2区 出土遺物



第14図 龜川遺跡 調査区位置図



第15図 龜川遺跡00-1区 トレンチ位置図

2. 遺物（第13図）

遺物は第2層より陶磁器、第4層より土師質土器の蜻窓、瓦が出土した。1は陶器塊、2・3は磁器碗で、近世期のものである。

第5節 龜川遺跡

(1) 龜川遺跡 00-1区

1. 調査の概要（第14・15図）

調査区は本遺跡の中央部に位置する。調査は、調査区の東部に $15.5m \times 1.5m$ のトレンチを設定して行った。

基本層序は、第1層耕作土、第2層褐黄茶色礫混土、第3層黄茶灰色礫混土の地山であった。遺構は検出されなかったが、遺物も耕作土より土師質土器、陶器が出土したのみである。

第6節 神光寺（蓮池）遺跡

(1) 神光寺（蓮池）遺跡 00-1区

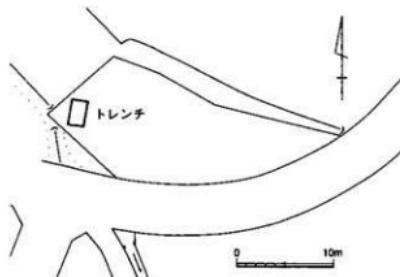
1. 調査の概要（第16・17図）

調査地は、本遺跡の南部に位置する。調査は、調査区の西部に $2.5m \times 1.6m$ のトレンチを設定して行った。

基本層序は、第1層盛土、第2層褐灰色粘土の地山で、遺構、遺物は検出されなかった。



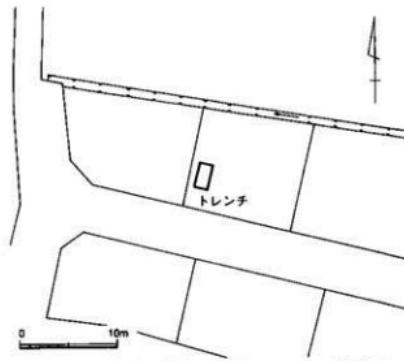
第16図 神光寺（蓮池）遺跡 調査区位置図



第17図 神光寺（蓮池）遺跡00-1区 トレンチ位置図



第18図 自然田遺跡 調査区位置図



第19図 自然田遺跡99-2区 トレンチ位置図

第7節 自然田遺跡

(1) 自然田遺跡 99-2区

1. 調査の概要 (第18~20図)

調査区は、本遺跡の西部に位置する。調査は、調査区の西部に $2.5\text{m} \times 1.4\text{m}$ のトレンチを設定して行った。

基本層序は、第1層盛土、第2層耕作土、第3層灰色土、第4層淡黃灰色砂質土、第5層褐色土の地山である。

遺構、遺物ともに検出されなかった。

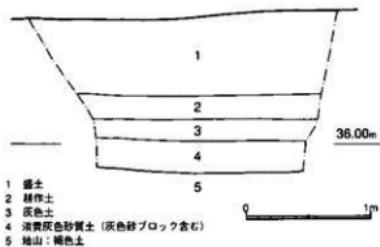
(2) 自然田遺跡 00-1区

1. 調査の概要 (第18・21・22図)

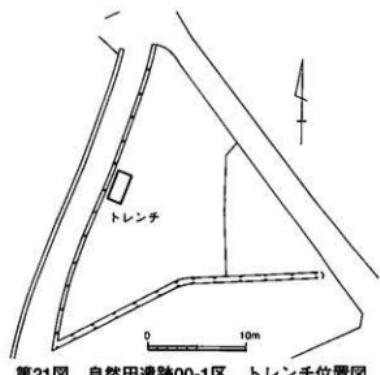
調査区は、本遺跡の中央部に位置する。調査は、調査区内の東部に $3.0\text{m} \times 1.5\text{m}$ のトレンチを設定して行った。

基本層序は、第1層盛土、第2層耕作土、第3層褐黄色砂質土、第4層明茶灰色土の地山である。

遺構、遺物ともに検出されなかった。



第20図 自然田遺跡99-2区 トレンチ西側断面図



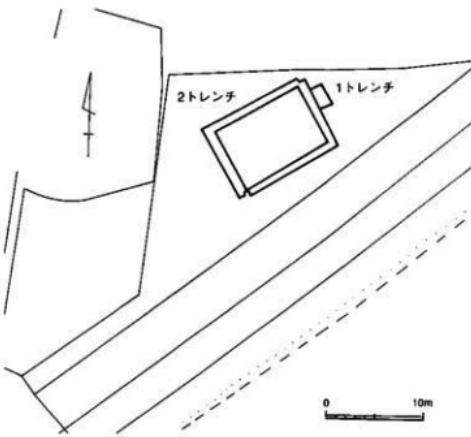
第21図 自然田遺跡00-1区 トレンチ位置図



第22図 自然田遺跡00-1区 トレンチ西側断面図



第23図 波有手遺跡 調査区位置図



第24図 波有手遺跡00-1区 トレーンチ位置図

第8節 波有手遺跡

(1) 波有手遺跡00-1区

1. 調査の概要 (第23~26図)

波有手遺跡は阪南市の北部に拡がり、海岸より400m内陸部に位置し、南は鳥取南遺跡、西は西鳥取遺跡に接する。

基本層序は第1層耕作土、第2層暗灰色土、第3層淡茶灰色土、第4層暗灰茶色土、第5層暗茶灰色礫混土の地山である。

遺構は第3~5層上面のそれぞれで土坑を検出した。第5層上面の土坑3から土師質竈壺が出土した。

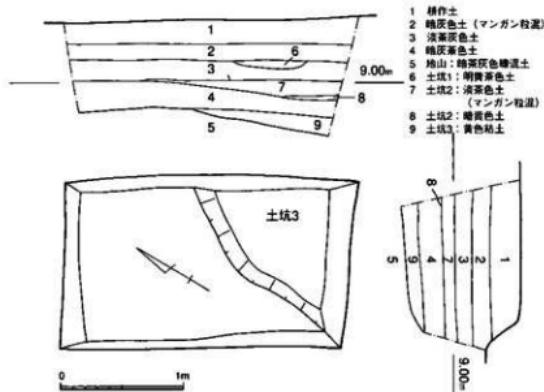
遺物は第2層より須恵器、土師質竈壺、陶磁器、瓦、焼土塊、第3層より須恵器、土師器、土師質竈壺、焼土塊、第4層より焼土塊が出土した。

2トレーンチは工事の掘削が地山面までおよばず第2層までの調査に止まった為、詳細は不明であるが、第3層にはかなり焼土塊が含まれている。

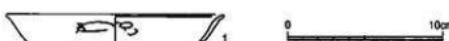
第2層は近世期、第3~5層は中世期のものである。

1. 遺物 (第26図)

1は、第2層より出土した磁器皿である。



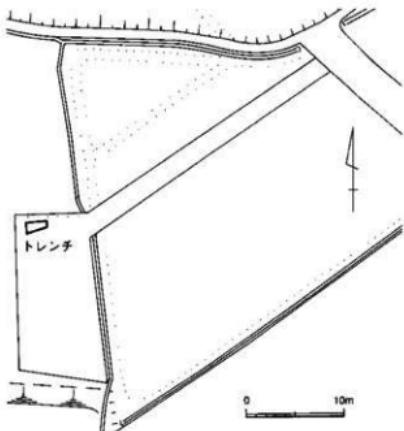
第25図 波有手遺跡00-1区 1トレーンチ平面図・断面図



第26図 波有手遺跡00-1区 出土遺物



第27図 西鳥取遺跡 調査区位置図



第28図 西鳥取遺跡00-1区 トレンチ位置図

第9節 西鳥取遺跡

(1) 西鳥取遺跡00-1区

1. 調査の概要 (第27~30図)

調査地は西鳥取遺跡の中央部に位置する。

調査は、調査区の北部に2.0m×1.0mのトレンチを設定して行った。

基本層序は、第1層耕作土、第2層淡灰茶色砂質土、第3層茶灰色砂質土、第4層茶黄色土の地山であった。

遺構は、第3層上面で落ち込みを検出し、遺物は、第2層から土師質土器、磁器、第3層から土師質土器、瓦、磁器が出土した。

2. 遺構 (第29図)

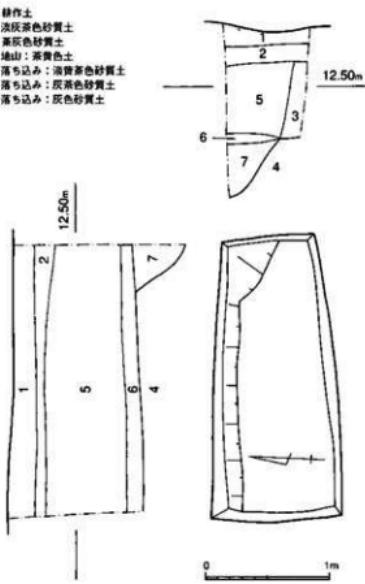
第3層上面で落ち込みを検出した。埋土は、淡黄茶色砂質土、灰茶色砂質土、灰色砂質土で、土師質竈壺、土師質土器、陶器が出土し、近世期のものと思われる。

調査地は段丘の端部に位置し、この落ち込みの方向は段丘と同じであり、落ち込みの埋土に含まれる遺物から、近世期に造成されたと思われる。

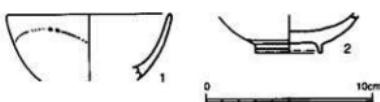
3. 遺物 (第30図)

1は磁器碗で、第3層から出土した。2は磁器碗で、第2層から出土した。

- 1 耕作土
- 2 淡灰茶色砂質土
- 3 茶灰色砂質土
- 4 地山：茶黄色土
- 5 落ち込み：淡黄茶色砂質土
- 6 落ち込み：灰茶色砂質土
- 7 落ち込み：灰色砂質土



第29図 西鳥取遺跡00-1区
トレンチ平面図・断面図



第30図 西鳥取遺跡00-1区 出土遺物

第10節 貝掛遺跡

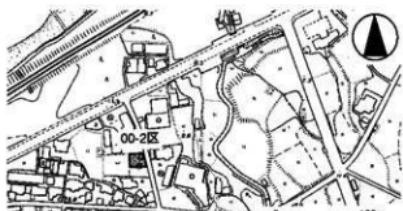
(1) 貝掛遺跡 00-2区

1. 調査の概要 (第31~34図)

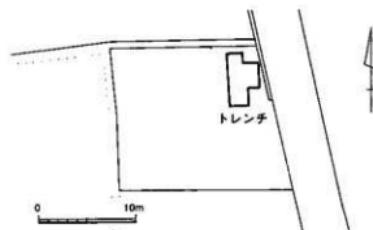
調査地は、貝掛遺跡の北部に位置する。調査は、調査区内に5.2m×2.5mのトレンチを設定して行った。基本的な層序は、第1層盛土、第2層耕作土、第3層明褐色砂質土、第4層灰褐色砂質土、第5層は淡黄色粘質土の地山であった。第4層は、隣接する99-1区で検出した落ち込みの埋土と類似し、肩の方向、堆積状況から同一の遺構であると思われる。第4層から出土した遺物から中世以降の遺構であると思われる。

2. 遺物 (第34図)

1~3は第4層から出土した。1は土師質羽釜であり、いわゆる紀伊型と思われる。2は土師質火鉢、3は陶器の壺である。4、5は耕作土から出土した。4は陶器塊、5は土師質管状土錐である。

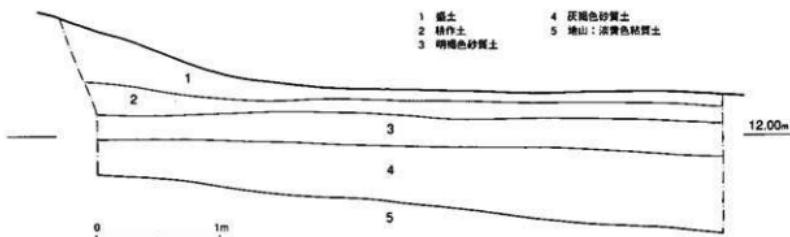


第31図 貝掛遺跡 調査区位置図

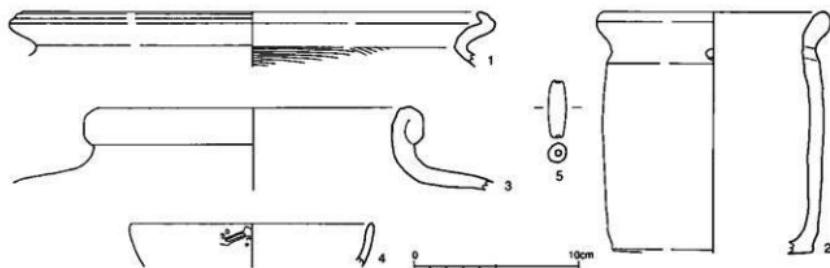


第32図 貝掛遺跡00-2区 トレンチ位置図

- | | |
|----------|--------------|
| 1 盛土 | 4 灰褐色砂質土 |
| 2 耕作土 | 5 地山: 淡黄色粘質土 |
| 3 明褐色砂質土 | |



第33図 貝掛遺跡00-2区 トレンチ西側断面図



第34図 貝掛遺跡00-2区 出土遺物



第35図 箱作今池遺跡・田山東遺跡 調査区位置図

第11節 箱作今池遺跡

(1) 箱作今池遺跡 00-2区

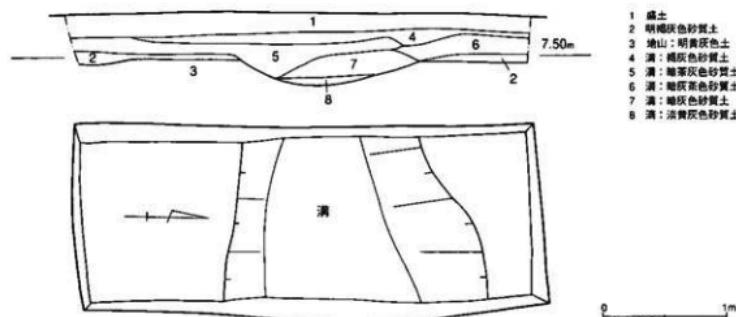
1. 調査の概要 (第35~38図)

調査地は、本遺跡の北部に位置する。調査は、調査地の北西部に3.8m×1.3mのトレンチを設定して行った。

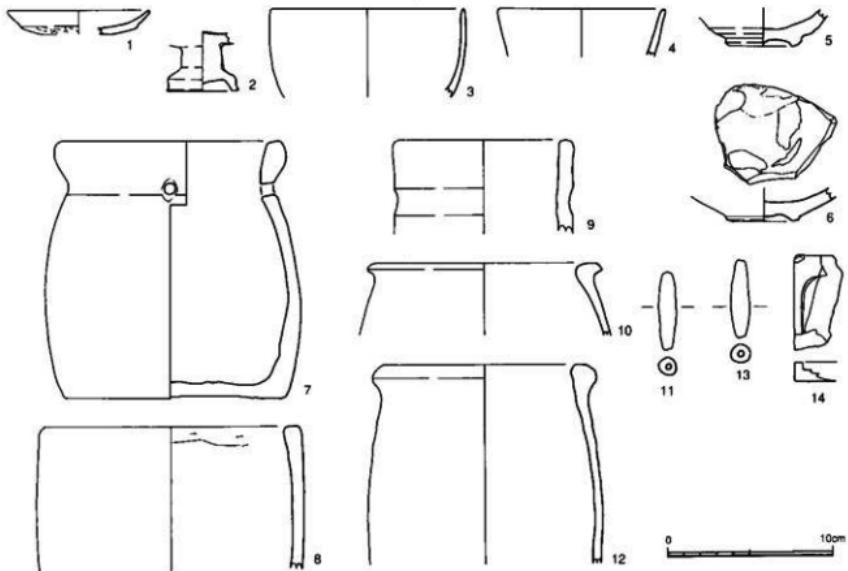
基本層序は、第1層盛土、第2層明褐色砂質土、第3層明黃灰色土の地山である。第2層については、その堆積状態や出土遺物などから基本の層と判断した。



第36図 箱作今池遺跡00-2区 トレンチ位置図



第37図 箱作今池遺跡00-2区 トレンチ平面図・西側断面図



第38図 箱作今池遺跡00-2区 出土遺物

遺構は、第2層上面で溝を検出した。溝の埋土からは、硯、陶器、磁器、土師質蛸壺、土師質土器、瓦等の遺物が出土し、近世期のものと思われる。

遺物は、第2層からサヌカイト、瓦器、土師質土器等が出土した。第2層は中世期の層と思われる。

2. 遺構（第37図）

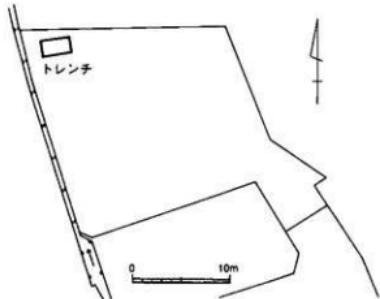
溝の埋土の堆積状態から、トレンチ内で検出した遺構は、段落ちになっている溝の底の部分と考えられる。そのため上にあると思われる溝の肩の部分は、トレンチの外に位置すると思われる。

溝の埋土は、褐灰色砂質土、暗茶灰色砂質土、暗灰茶色砂質土、暗灰色砂質土、淡黄灰色砂質土で、いずれも砂質土で自然河川の可能性も考えられる。

3. 遺物（第38図）

1は、瓦器の小皿で、第2層から出土した。以下2~14は、溝から出土した。

2は磁器の仏飯器脚部で青磁釉が施される。3~4は陶器の塊で口縁部、2~4は暗灰色砂質土から出土した。5~6は唐津で5は塊の高台部、6は皿の高台部、5は内側にススが付着し、6は砂目積み跡がみられる。7~13は土師質土器で、7~8は火鉢、7は内側に、8は外側と内側にススが付着している。9は蛸壺の口縁部、10は土師質壺の口縁部、11は管状土錐で、5~11は暗灰茶色砂質土から出土した。12は蛸壺の口縁部、13は土師質管状土錐、14は石製の硯で、12~14は暗茶灰色砂質土から出土した。



第39図 箱作今池遺跡00-3区 トレンチ位置図

(2) 箱作今池遺跡 00-3区

1. 調査の概要 (第35・39~41図)

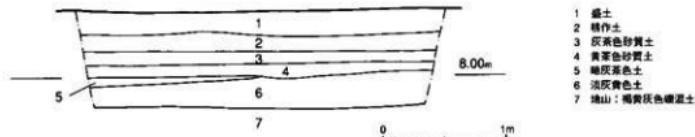
調査地は、箱作今池遺跡の中央部に位置する。調査は、調査区の西端部に3.0m×1.3mのトレンチを設定して行った。

基本層序は、第1層盛土、第2層耕作土、第3層灰茶色砂質土、第4層黄茶色砂質土、第5層暗灰茶色土、第6層淡灰黄色土、第7層褐黃灰色礫混土の地山である。

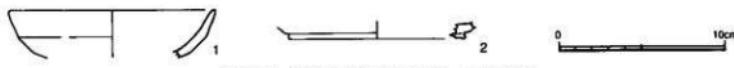
遺構は検出されなかつたが、遺物は、第3層から須恵器、土師質蜻蛉、土師質土器、瓦質土器、第4層から須恵器、黒色土器、土師質蜻蛉、土師質土器、瓦、第5層から土師器、土師質土器が出土した。出土遺物から、第3~5層の時期は中世と考えられる。

2. 遺物 (第41図)

1は、土師器の壺の口縁部で、第5層から出土した。2は、須恵器の壺身の高台部で、第4層から出土した。



第40図 箱作今池遺跡00-3区 トレンチ南側断面図



第41図 箱作今池遺跡00-3区 出土遺物

第12節 田山東遺跡

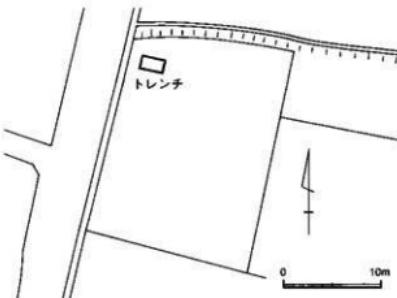
(1) 田山東遺跡 00-1区

1. 調査の概要 (第35・42・43図)

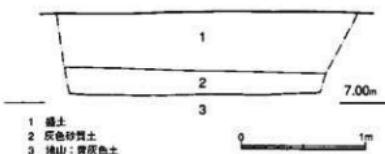
調査区は本遺跡の東部に位置する。調査は、調査区の北西部に1.4m×2.4mのトレンチを設定して行った。

基本層序は、第1層盛土、第2層灰色砂質土、第3層黄灰色土の地山である。

遺構は検出されなかつたが、遺物は第2層から土師器、須恵器、瓦質土器、瓦器、土師質蜻蛉、陶器、磁器、瓦が出土した。



第42図 田山東遺跡00-1区 トレンチ位置図



第43図 田山東遺跡00-1区 トレンチ南側断面図

報告書抄録

ふりがな	はなんしまいぞうぶんかざいはくつちょうきがいよう							
書名	阪南市埋蔵文化財発掘調査概要 16							
副書名								
卷次								
シリーズ名	阪南市埋蔵文化財報告							
シリーズ番号	28							
編著者名	三好義三・田中早苗・上野仁・松本武志							
編集機関	阪南市教育委員会生涯学習推進室							
所在地	599-0292 大阪府阪南市尾崎町35-1 TEL 0724-71-5678							
発行年月日	2001年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コ一ド 市町村番号	北緯 度	東經 度	調査期間	調査面積 m ²	調査原因	
おざきかいがん 尾崎海岸	はなんしむおざきちょう 阪南市尾崎町	27232	65	342140	1351433	000612	2.0	住宅
おざきしみず 尾崎清水	しもいで 阪南市下出	27232	68	342125	1351446	010122	4.9	住宅
しもいで 下出	同 上	27232	66	342117	1351506	001215	3.8	住宅
うまがわ 馬川	同 上	27232	39	342122	1351505	000222	4.0	住宅
かめかわ 龜川	じねんだ 阪南市自然田	27232	13	342023	1351514	000525	23.3	住宅
じんこうじはずいけ 神光寺(蓮池)	いしだ 阪南市石田	27232	20	342031	1351451	000801	4.7	住宅
じねんだ 自然田	じねんだ 阪南市自然田	27232	35	342017	1351534	000322	3.5	住宅
同 上	同 上	27232	35	342023	1351530	000601	4.5	住宅
ばうで 波有手	とつとり 阪南市鳥取	27232	69	342057	1351411	010123~30	38.0	住宅
にしどうとり 西鳥取	同 上	27232	56	342046	1351357	001113	2.2	住宅
かいかけ 貝掛け	かいかけ 阪南市貝掛け	27232	19	342029	1351328	000828~29	10.8	住宅
はこづくりいまいけ 箱作今池	はこづくり 阪南市箱作今池	27232	24	342022	1351252	000928	5.6	住宅
同 上	同 上	27232	24	342022	1351257	001212	4.8	住宅
たやまひがし 田山東	同 上	27232	58	342014	1351237	000522	3.4	住宅

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
尾崎海岸	散布地	不 明	土坑・溝	土師質土器・磁器	
尾崎清水	同 上	不 明		土師質管状土錘	
下 出	同 上	不 明		土師質壺・陶器・磁器・瓦	
馬 川	同 上	不 明		土師器・瓦器・土師質土器・瓦質土器 ・土師質管状土錘・土師質壺・磁器	
亀 川	同 上	不 明		土師質土器・陶器	
神光寺(蓮池)	同 上	不 明			
自然田	同 上	不 明			
	同 上	不 明			
波 有 手	同 上	不 明	土坑	土師器・須恵器・土師質壺・ 陶器・磁器・瓦・焼土	
西 鳥 取	同 上	近 世	落ち込み	土師質土器・磁器・瓦	
貝 掛	同 上	中 世	落ち込み	土師質土器・土師質管状土錘・陶器	
箱作今池	同 上	中 世	溝	サヌカイト・瓦器・土師質土器・土師 質管状土錘・土師質壺・陶器・磁器 ・瓦・硯	
	同 上	中 世		土師器・須恵器・黒色土器・土師質土 器・瓦質土器・土師質壺	
田 山 東	同 上	中 世		土師器・須恵器・瓦器・瓦質土器・土 師質壺・陶器・磁器・瓦	



尾崎海岸遺跡00-1区 トレンチ全景（南より）



尾崎清水遺跡00-2区 トレンチ全景（東より）



馬川遺跡99-16区 トレンチ全景（北より）



下出遺跡00-2区 トレンチ全景（南より）



亀川遺跡00-1区 トレンチ全景（南より）



神光寺（蓮池）遺跡00-1区 トレンチ全景（南より）



自然田遺跡99-2区 トレンチ全景（南より）



自然田遺跡00-1区 トレンチ全景（南より）



西鳥取遺跡00-1区 トレンチ全景（西より）



貝掛遺跡00-2区 トレンチ全景（北より）



波有手遺跡00-1区 1トレンチ全景（北より）



今池遺跡00-2区 トレンチ全景（東より）



今池遺跡00-3区 トレンチ全景（東より）



田山東遺跡00-1区 トレンチ全景（西より）



尾崎海岸遺跡00-1区 出土遺物

尾崎海岸遺跡00-1区 出土遺物



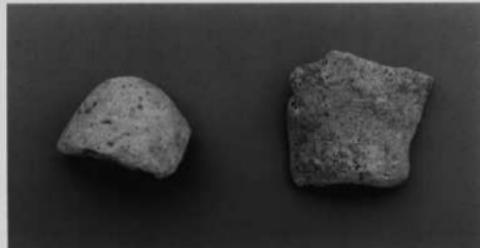
尾崎海岸遺跡00-1区 出土遺物



尾崎海岸遺跡00-1区 出土遺物



馬川遺跡99-16区 出土遺物



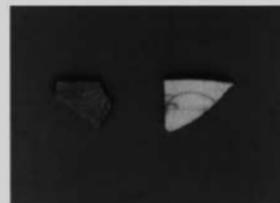
尾崎海岸遺跡00-1区 出土遺物



尾崎清水遺跡00-2区
出土遺物



下出遺跡00-2区 出土遺物



波有手遺跡00-1区 出土遺物



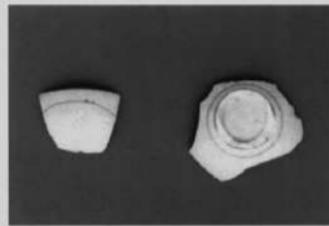
貝掛遺跡00-2区 出土遺物



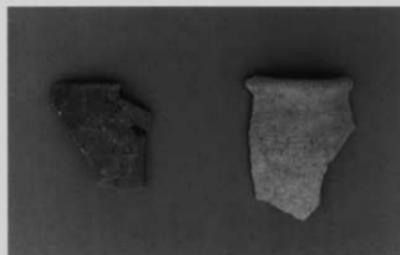
箱作今池遺跡00-2区 出土遺物



箱作今池遺跡00-2区 出土遺物



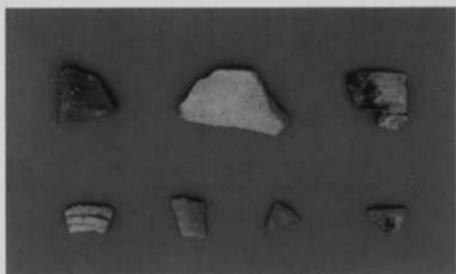
西鳥取遺跡00-1区 出土遺物



箱作今池遺跡00-2区 出土遺物



箱作今池遺跡00-2区 出土遺物



箱作今池遺跡00-3区 出土遺物



田山東遺跡00-1区 出土遺物

阪南市埋蔵文化財報告XXII

阪南市埋蔵文化財発掘調査概要XII

2001年3月

発行：阪南市教育委員会生涯学習推進室
大阪府阪南市尾崎町35の1

印刷者：西岡総合印刷株式会社
和歌山市吹屋町5丁目54